

科目名 (科目番号)	生理機能検査学Ⅲ (時間割参照)	教員名 飯田 典子	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	B205研究室	
授業概要		生理学、生理機能検査学Ⅰ、生理機能検査学実習Ⅰ、生理機能検査学Ⅱ、生理機能検査学実習Ⅱ、臨床実習で習得した知識を整理し総括する。さらに、臨床症例報告から検査結果と疾患との関連性や検査への応用力を習得する。新たな検査項目の消化器系検査についても学ぶ。					
目的・目標		目的:3年次まで習得した知識を基に、生理機能検査で得られた結果と病態・疾患との関連を再確認する。新たに追加された消化器系検査の直腸肛門機能検査を理解する。 目標:生理機能検査結果と病態・疾患との関連を理解し、列挙・説明できる。					
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。					
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容			
	1	循環器系検査の確認 (Ⅰ)		到達目標:心電図検査法や異常心電図波形の判読法を理解する。 学習内容:心電図波形の成り立ち、虚血性疾患、心室肥大、伝導障害など			
	2	循環器系検査の確認 (Ⅱ)		到達目標:心音図および心機図検査と心疾患を理解する。 学習内容:心音図、頸動脈波、心尖拍動、大動脈弁狭窄症など			
	3	神経・筋系検査の確認 (Ⅰ)		到達目標:脳波導出法、正常脳波(睡眠脳波を含む)と各種賦活法による器質的および機能的脳疾患と脳波パターンとその臨床応用を理解する。 学習内容:10/20電極法、正常脳波、睡眠脳波、てんかん、脳腫瘍など			
	4	神経・筋系検査の確認 (Ⅱ)		到達目標:筋電図検査と神経・筋疾患、末梢神経伝導検査の臨床を理解する。 学習内容:線維自発放電、神経伝導速度、軸索変性、重症筋無力症など			
	5	呼吸器系検査の確認 (Ⅰ)		到達目標:組織呼吸と肺呼吸、ガス代謝を理解する。 学習内容:換気、排気量分画、ガス代謝			
	6	呼吸器系検査の確認 (Ⅱ)		到達目標:肺内ガス分布・肺拡散能力検査および換気力学的検査法を理解する。 学習内容:肺内ガス分布、肺拡散能、肺コンプライアンス、呼吸抵抗など			
	7	血液ガス分析と呼気ガス分析		到達目標:血液ガス分析の測定原理、呼気ガス分析、酸塩基平衡と呼吸器疾患の関係を理解する。 学習内容:血液ガス、検体の取扱い、呼気ガス分析、酸素解離曲線、酸塩基平衡など			
	8	エネルギー代謝 消化器系検査		到達目標:基礎代謝の測定原理および変動因子を理解する。 消化器系検査(直腸肛門機能検査)を理解する。 学習内容:CO2排出量、O2摂取量、直腸肛門機能検査など			
成績評価の方法・基準		期末試験(100%)で評価する。					
教科書		最新 臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 練習問題および波形などの資料を適宜配布			東條尚子・川良徳弘 編著 医歯薬出版		
参考図書		臨床検査法提要(改訂第35版)			金井正光 監修 金原出版		
教員からのメッセージ		2年次に修得した生理機能検査学Ⅰ・Ⅱについて国家試験ではどのように出題されているかを中心に講義を進める。十分に生理機能検査学Ⅰ・Ⅱの復習をしてから臨むこと。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。					